

畳の良さを全国に広めたい!

溝口 善大 (みぞぐち よしひろ)

所在地 : 八代市
就農時期 : 2022年1月～（就農5年目）
生産品目 : いぐさ、水稻、ブロッコリー、
キヤベツ
経営面積 : いぐさ150a、水稻360a、
ブロッコリー50a、キヤベツ30a

八代市は、古くから豊かな自然を活かした農業が盛んで、全国シェア80%以上ある"いぐさ"の生産地です。

しかし、畳の需要は年々減少し、熊本県のいぐさ農家数は、平成27年には536戸ありましたが、令和7年には223戸と減少傾向が続いている状況です。



～就農のきっかけ～

高校卒業後、京都の会社に就職しました。しかし、「県外でのいぐさの認知度が低いこと」及び「父から今ならお前が一番若いぞ」と言われ、一大決心して、まったくの農業未経験ながら、入社2年目に退社し親元就農しました。



～様々な活動～

私は、親子三代でいぐさを生産しています。八代市の特産品である「いぐさを広め存続させる」ため、いぐさを使ったしめ縄やディフューザーをイベント等で配布するなど若手農業者と共にいぐさの魅力発信に力を入れています。

また、就農当初から地域のいぐさ生産者と積極的に交流し、栽培技術等を学んでいます。



1月のいぐさ



1月のブロッコリー



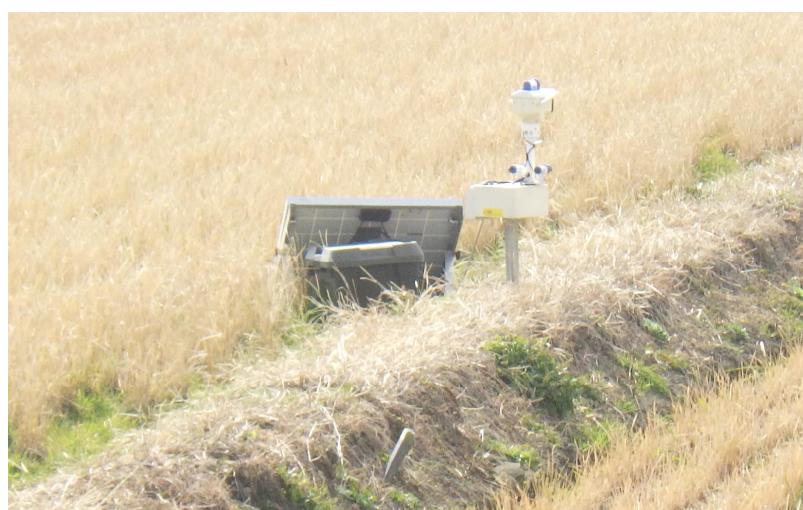
～生産の状況～

現在は、畳表製造の他にブロッコリーとキャベツを栽培しています。

カモ被害は、私のブロッコリーとキャベツにはあまり影響がありません。しかし、隣の他人のブロッコリーにカモが来て、私のいぐさの水田で水遊びする為、対策として「カモレーザー」を設置しています。



1月のキャベツ



カモ対策 (カモレーザー)

～今後の目標～

今後も「畠の良さを広めよう!」を目標に、熊本県いぐさ・畠表のPR活動に努め、需要を拡大したい。

また、マーケティングとして、パンフレット作成や自社のロゴ、SNSサイトで商品PR等を検討しており、いぐさ加工食品等6次化にもチャレンジしたい。